

—お互いに「幸福」を守り育てる希望郷いわて—

岩手県環境化学・食品衛生職 採用リーフレット



人の暮らし。
環境の保全。
食の安心安全。

『幸福』：岩手県の先人宮沢賢治が残した「世界がぜんたい『幸福』にならないうちは個人の『幸福』はあり得ない」から引用しています。



岩手県環境生活部

Department of Environment and Residential Life

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

高めよう！ 暮らしの安全・安心
引き継ごう！ 豊かな環境・いわての魅力
支えよう！ 躍動する若者・女性
「守り」に加えて「攻め」の環境生活部を目指しています

2013年度採用

阿部 志保美 主任

2013年4月 花巻保健福祉環境センター配属
2016年4月 大船渡保健福祉環境センター配属
2019年4月 環境生活部環境生活企画室配属
2022年4月 盛岡広域振興局保健福祉環境部配属
(県央保健所)

就活生へアドバイス

勉強や研究、趣味など、興味のあることや好きなことに満足するまで取り組むことが一番大事だと思います。一緒に仕事ができると嬉しいです!



Q1 入庁したきっかけは?

最初は県外で就職しようと考えていたのですが、やっぱり岩手県に戻って就職しようと思った際に、一番に思いついた職業が県職員だったからです。

Q3 一番印象に残っている仕事は?

環境生活企画室(本庁)に異動した年に、政府予算に関する国への要望に随行し、環境省を訪問したことです。これまで経験してきた業務と違い、庁内調整等で苦労することも多かったのですが、関係職員の協力により完成した要望書を、知事から環境大臣に手渡す場面を実際に見ることができたのは印象に残る経験になりました。

Q2 どのような仕事をしていますか?

環境保全に関わる仕事を担当しており、工場や事業所等への届出指導や立入検査、河川や地下水、事業場排水等の水質を調べるためのサンプリング(採水)などを行っています。

Q4 環境化学技術職の魅力は?

幅広い分野の業務に携われることが一番の魅力だと考えています。

私たちが担当する業務は、廃棄物、環境保全、自然保護、生活衛生、地球温暖化など多岐にわたるので、様々な分野に関する知識を深めることができます。

また、広い視野をもって仕事に取り組めることもこの職種の良さだと思います。

2021年度採用

遠藤 佑太 技師

2021年4月 大船渡保健福祉環境センター配属
(大船渡保健所)



就活生へアドバイス

どのような選択でも自身で納得し、実行することが大事だと思います。まずは選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。

Q1 入庁したきっかけは?

宮城県出身ですが、進学や転職等、人生の大事な場面において、岩手県に住む皆様に助けられました。

いつか岩手県へ恩返しをしたいと思い、自身の知識や技術を広い分野で活用できる職を探した結果、行政志望に至りました。

Q2 どのような仕事をしていますか?

食品衛生業務を担当しており、飲食店や工場の許認可、衛生管理の普及啓発、食品表示の適正化、食中毒事件の対応等、食品に関わる業務全般に携わっています。

特に講習会や現場指導を積極的に行い、事件事故の未然防止を図っています。

Q3 仕事のやりがいとは?

事件事故の未然防止が第一ですので、通報や苦情等がなく一日を終えられた際は、日々の業務の成果を感じます。

また、食中毒対策の講習会で地域の皆様の熱意を感じたり、相談対応したお客様から、感謝のお手紙や窓口でのご挨拶をいただくことがあり、社会に貢献できていると嬉しく思います。

Q4 オフの日の過ごし方は?

職場内外の方々と定期的にフットサルや食事会を行っており、業務以外での繋がりがあって楽しく交流しています。

また、沿岸の大船渡市に居住後、釣りを始めました。岩手県は広いので、実際に来て、住んで知る魅力があると思います。

2009年度採用

川村 あさひ 主任専門研究員

2009年4月 一関保健福祉環境センター配属
 2012年4月 環境生活部県民くらしの安全課配属
 2016年4月 大船渡保健福祉環境センター配属
 2019年4月 岩手県環境保健研究センター配属

就活生へアドバイス

県民の生活を支えるために欠かせない仕事です。仕事とプライベートを両立したい方にもおすすめです。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



Q1 入庁したきっかけは？

大学で、食品衛生監視員の資格を取得できることを知り、資格を活かせる職場なのではないかと興味を持ったことがきっかけです。

Q3 食品衛生技術職の魅力は？

色々な業務を経験し、自分を成長させることができるのが魅力だと感じます。
 業務内容が多岐にわたっており、これまでの勤務先では、飲食店等の食品関連施設の監視・指導(保健所)、営業施設を監視・指導するための計画の策定(県庁)、流通食品の検査業務(環境保健研究センター)などを経験することができました。

Q2 どのような仕事をしていますか？

流通食品の検査業務を行っています。主に残留農薬検査を担当しており、農作物を中心に、農薬の残留基準値を超過する食品が流通していないか検査しています。
 食品から残留基準値を超える農薬が検出された場合、当該食品の回収が行われるため、正確な分析結果を出すことはとても重要で、緊張感を持って働いています。

Q4 福利厚生は充実していますか？

子育てをしながら働いていますが、子育て支援の制度が充実していると思います。妊娠中の検診休暇、産前休暇、産後休暇、育児休業、保育のための保育時間や部分休業、子の看護休暇などの制度に助けられ、子育てをしながら働き続けることができています。

2011年度採用

吉田 拓司 主任

2011年4月 二戸保健福祉環境センター配属
 2014年4月 宮古保健福祉環境センター配属
 2017年4月 環境生活部環境保全課配属
 2019年4月 政策研究大学院大学派遣
 2020年4月 環境生活部資源循環推進課配属
 2023年4月 環境生活部環境生活企画室配属



就活生へアドバイス

理系の方で何となく岩手で仕事をしたいとお考えの方は、是非当該職種も業務研究の対象に加えていただければ幸いです。

Q1 入庁したきっかけは？

大学3年生になって就職活動が始まった頃、将来を考えたときに、生まれ育った岩手で仕事をしたいなと漠然とイメージしていました。
 自分の専門分野を生かすことができる仕事をを中心に業務研究していたところ、岩手県の環境化学・食品衛生職を見つけ、入庁を志望しました。

Q3 実際に働いてみて感じたことは？

入庁前は、事務仕事を黙々とこなすインドアなイメージでしたが、出先機関では、立入検査やサンプリング業務など、アウトドアな業務が多いことに驚きました。
 本庁では、自分の専門性を強みにしながら、幅広い業務に挑戦できるところが魅力だと思います。

Q2 どのような仕事をしていますか？

環境と県民生活に関わる施策の総合的な企画調整事務や環境生活施策の推進を支援する事務を行っています。
 具体的には、各種要望対応や政策評価に関する部内調整、地域のリーダーとして活躍する新たな環境人材の発掘や育成を目的とした講座「いわて環境塾」の運営等の業務を担当しています。

Q4 研修は充実していますか？

職位毎に必修する研修や職種毎の業務専門研修のほか、政策形成能力等を主体的に学ぶ選択研修や資格取得等の自己啓発の取組に支援があるなど、制度は充実していると思います。
 私自身も大学院派遣研修で、地方行財政論や環境分野における政策展開のあり方等について腰を据えて勉強する機会を頂き、日々の業務に当たる上での土台となっています。

岩手県内の 環境化学・ 食品衛生職の 勤務公所マップ。 業務内容 (環境生活部)

各広域振興局(9か所) 保健福祉環境部・ 保健福祉環境センター

- 環境保全、資源循環、生活衛生、地球温暖化対策に関する業務
- 食品衛生に関する業務 など



県北広域振興局
二戸保健福祉環境センター

本庁
(環境生活部・県土整備部)

- 環境生活部
環境生活行政の企画、調整 など
●環境生活企画室 ●環境保全課
●資源循環推進課 ●自然保護課
●県民くらしの安全課
- 県土整備部
浄化槽に関する業務 など
●下水環境課

盛岡広域振興局
保健福祉環境部

環境保健研究センター

- 環境汚染、地球温暖化などに関する調査研究
- 食品、水質、感染症の検査 など

工業技術センター

- 食品加工に関する試験研究、技術支援 など

県南広域振興局
花巻保健福祉環境センター

県南広域振興局
保健福祉環境部



沿岸広域振興局
宮古保健福祉環境センター

沿岸広域振興局
保健福祉環境部

沿岸広域振興局
大船渡保健福祉環境センター

県南広域振興局
一関保健福祉環境センター



勤務条件

■ 給与・諸手当

初任給 / 197,800円
※試験研究機関に配属された場合は203,300円
住居手当、通勤手当、寒冷地手当等

■ 期末・勤務手当

年2回支給、勤務成績により勤勉手当支給率アップ

■ 休暇

年次有給休暇 / 20日(初年度15日)、病気休暇
夏季休暇 / 5日
特別休暇(結婚、産前・産後、育児、忌引、介護、ボランティア、キャリアアップなど)

■ 研修制度

基本研修、能力開発講座、専門職員の養成研修など



厚生福利

■ 共済制度

人間ドック、脳ドック、PET-CTがん検診等 / 低い自己負担額で受診可

■ 職員互助会

会員療養給付金 / 1か月の医療費の自己負担が3,500円を超える場合、超えた額インフルエンザ予防接種助成金 / 1人1回につき2,000円(上限)

■ 職員公舎

低価格で入居できる職員公舎が整備

■ 福利厚生施設の利用・健康サポート支援など

県内の温泉施設等の共済組合保養施設が助成付で利用可
心身のケアのために県庁内の専門カウンセラーによるサポート有り



採用試験 (新卒の場合)

■ 募集時期

毎年4月下旬~5月中旬 → 要項は4月下旬に県HPに掲載

■ 試験スケジュール

6月中旬……………1次選考(教養試験・専門試験・論文試験)
7月上旬……………2次選考(適性検査・面接)
8月上旬……………合格発表 → 翌年3月中旬 配属先決定

〈参考〉

■ インターンシップ(8月頃)

各広域振興局保健福祉環境部・センターや
試験研究機関で仕事を実地体験



エコロル
岩手県3R推進キャラクター

【担当】岩手県環境生活部環境生活企画室 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL.019-629-5327(直通)



岩手県-職員募集
(岩手県ホームページ)



岩手県-岩手県職員募集案内
(岩手県人事委員会事務局ホームページ)